

日経平均株価

2万3653円82銭  
▼56円61銭(前日比)

TOPIX

1876.24  
▼11.85(前日比)

## 証券市場新聞

2018

1/15

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



# 次世代自動車新たな領域へ 完全自動運転と水素・電気自動車

電気自動車は充電  
時間の短縮が課題だ

自動車（7202）は、上昇相場で、自動車業界の動向を注目する。自動車の動向は、自動車の動向を反映する。自動車の動向は、自動車の動向を反映する。

自動車（7202）は、上昇相場で、自動車の動向を注目する。自動車の動向は、自動車の動向を反映する。

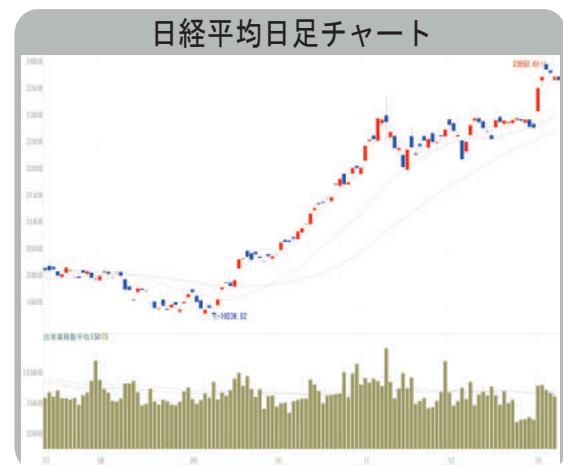
自動車について、完全自動運転化の実現と、ガソリンエンジンに代わる動力源の確保が重要課題となる。自動運転については、駐車が、完全なる自動パーキングが既に市販車に搭載されていっている。

自動車（7203）は、1月9日から米国ネバダ州ラスベガスで開催された「CES 2018」で次世代自動運転実験車「Platform 3.0」を公開した。自動運転技術の装備をコンパクトにパッケージ化し、車両の認識能力向上を実現する。自動運転車に搭載される自動運転技術をコントロールするオートマティックドライブが、完全なる自動運転を実現する。

自動車（7202）は、上昇相場で、自動車の動向を注目する。自動車の動向は、自動車の動向を反映する。

## 技術革新が急速に進展

2018年に技術革新の急速な進展が期待できるのが自動車業界だ。昨年も自動運転や水素（FCV）、電気（EV）などの次世代エコカーが株式市場でも幾度となく話題となつたが、これらに関しては、ここへ来て自動車メーカー各社から新たな動きがでてきている。電子部品業界もスマートフォンの普及が頭打ちになるなかで、コネクテッドカーなどの開発で自動車分野への部品納入比率を拡大させる動きにあり、様々な業界を交えて、次世代自動車に熱い視線が向けられている。



## SBIの日足チャート

I ホールディングス（8473）やセレス（3696）など仮想通貨やブロックチェーンに絡む銘柄が値を飛ばした。読売新聞で「仮想通貨の基盤となる『ブロックチェーン』技術を使い、銀行間の送金手数料を大幅に安くできるサービス」が、今年3月にも一部の銀行間で始まる見通し

送金手数料大幅引き下げと伝わる

## 仮想通貨関連値飛ばす

## 年始からの動意銘柄

## 半導体関連高い

4日、東京エレクトロン（8035）、SMC（3635）やSCREEN（7735）など半導体関連銘柄が高いため、半導体市場で買われた。前日は半導体関連が買われた。

ア半導体株指数が大幅高で約1カ月ぶりに1300台を回復、ハイテク株比率の高いNASDAQ総合指標が初の7000台に乗せたことで、海外関連株高の流れが東京市場にも波及した。いずれも昨年及れに高値を付け、年後11月に高値を付け、調整一巡感から買戻しが入りやすいタイミングにあつた。

4日、桜島埠頭（9353）が急反発。同社が本拠を置く大阪府と市が意欲を見せており、此花区再度注目されている。

I ホールディングス（8473）やセレス（3696）など仮想通貨やブロックチェーンに絡む銘柄が値を飛ばした。読売新聞で「仮想通貨の基盤となる『ブロックチェーン』技術を使い、銀行間の送金手数料を大幅に安くできるサービス」が、今年3月にも一部の銀行間で始まる見通し

し」と報じたことが材料視されたようだ。

I 奎下でファインテック分野のシステムを構築するソルクシード（4284）もストップ高に買われた。

## 泉州電業は最高値

4日、泉州電業（9824）が3連騰、最高値を更新した。17年12月11日付の一決算速報で既に売上高780億円、営業利益35億

5日、松屋（8237）が反落。銀座本店は前年同月比2・9%増となつたが、4日に1618円まで買われ、昨年から利益確定したことから高値を更新してい

とだと思いま

## 正直じいさんの株で大判小判

売りに押された。ストール、手袋など防寒雑貨の好調に合わせ、コートやジヤケツトなどの防寒を軸に衣料品が婦人・紳士ともに堅調に推移、また、免税売上高も引き続き化粧品や腕時計が大幅に売り伸びました。

N Y市場が休場となることをから東京市場も週明けは大きな動きはないと思われます。3Q決算第に業績相場の色彩を強めていくとみ小型好業績銘柄が追いへ明確な期待が高まるかも知れません。

12日の東京市場は小動きに終始しました。1月第2週は225オプションのSQでしたが、波乱なく通過し、昨年の相場のように円高でも指數が下に振ることなく、底堅い印象です。では昨年11月27日に付けて110円83銭が意識されます。続いて2ケタ増益を見込んでおり、好調な業績が引き続き評価されている。西村元秀社長は「今後急速にニーズが拡大するロボット用ケーブルでの電線や、中国政府が主導する中製造2025に絡む設備投資需要も取り込んでいく」と今後の事業拡大に意欲を見せており、中長期的に鋭角的な業績が期待される。

## 週明けNY休場で中小型対処

花工レテック（6039）は第3四半期で再増額への期待が高まるかも知れません。

花咲翁（8135）は第3四半期で再増額への期待が高まるかも知れません。

物高度（8135）は第3四半期で再増額への期待が高まるかも知れません。

トレンドが出ている立

## 企業觀察 キリン堂HD（3194）

# 「キリン堂維新」を推進



で構成されるキ  
018年の新年  
）に大阪市北区  
ホテルで開催、盛大  
者を集めて盛大  
年の挨拶で寺西  
は「リアル店舗  
求すると同時に  
ス）にも取り組  
み『キリン堂維  
新』を実現して  
いきたい」と抱  
負を述べた。

## 寺西社長、リアル店舗とEC融合

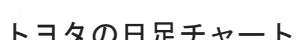
境が大きく変化するなかで、インターネット通販の存在感が高まつており、顧客ニーズに合致したECへの取り組みを強化するが、リアル店舗で顧客と直接接する重要性は変わらないとし、リアル店舗とECを融合させた新時代の販売体制に意欲を見せた。今18年2月期通期予想について売上高で120億円から1246億円（前期比7・0%増）、営業利益で15億1000万円から15億2000万円（同17・0%増）へ、純利益で0万円（同44・9%増）へ増額しており、更なる飛躍が期待される。

ロックフィルド急騰し高値

9日、ロツ  
ド(291)が急騰、  
昨年来高値を  
更新した。5  
日付でみずほ  
証券が投資判  
断を「アンダ  
ー・パフォーム  
」から「買い  
」へ、目標株  
価を1580  
円から264  
0円へ引き上  
げたことが材  
された。家庭内  
基調を背景に、  
大の兆しを見せ  
り、将来の参入  
不<sup>ト</sup>通販市場  
に商品開発を  
きた同社の参

入機会も増加しつつあると判断している  
ブランジス 150万DL 9日、ブランジス  
タ（6176）がストップ高まで買われ  
連日で昨年来高値を更新した。7日、連  
結子会社のブランジス・スタジムが運営す  
る3Dクレーンゲーム「神の手」のスマ  
ートフォン向けアプリがApp Store  
で1位となり、150万ダウンロードを  
突破したと発表してたことが好感された。  
テレビCMの全国放送を開始したほか、利  
用者数の増加が続いている  
景品企画などの効果も大きく、利用者数

# トヨタ3連騰で高値 次世代自動運転実験車公開へ



The figure consists of two parts. The top part is a line graph titled 'Sales per month' showing monthly sales from January 2000 to December 2008. The y-axis is labeled 'Sales per month' and ranges from 0 to 100. The x-axis shows months from Jan 2000 to Dec 2008. Two lines are plotted: a blue line representing overall sales and a red line representing sales of vehicles with hybrid engines. Both lines show a general upward trend over the period. The bottom part is a bar chart titled 'Sales of Japanese cars by model in 2008'. The y-axis is labeled 'Sales of Japanese cars by model in 2008' and ranges from 0 to 100. The x-axis lists various car models. The bars are colored green.

5日、三菱UFJ  
ファイナンシャル・グループ（8306）  
三井住友ファイナンシヤルグーループ（8316）、みずほファイナンシャルグループ（8411）のメガバンクが上値追い。長期金利上昇や金融規制緩和への期待から米国株市場でJPモルガンやシティグループなど大手金融株の上昇が続いており、東京市場にも海

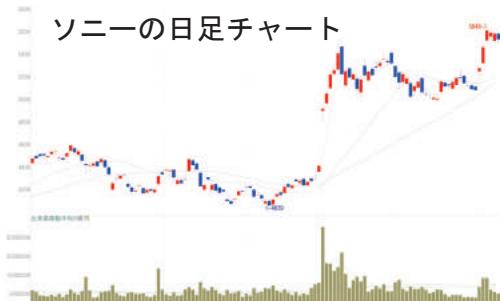
石川製リスク後退

( 5 日、石川製作所  
6 2 0 8 ) が 3 日

入機会も増加しつつあると判断していく

入機会も増加しつつあると判断している。

が続落。北朝鮮が冬季五輪の参加に意欲を示すなど融和姿勢を見せてきたことから地政学リスク後退による売りが続いた。



758) が 続伸、2  
カ月ぶりに昨年来高  
値を更新した。日本  
経済新聞が傘下のソ  
ニー・インタラクテ  
ィブエンタインメ  
ント(SIE)は仮  
想現実(VR)機器  
「プレイステーショ  
ン(P.S.)VR」用  
のソフトを拡充する  
と報じたことが好感  
された。ゲーム各社  
が2018年末まで  
にタイトル数を現在  
の約150本から8  
割超増の280本超

# メガバンクが高い

## 日米長期金利が上昇

# メガバンクが高い 日米長期金利が上昇

年3月以来約10ヶ月ぶりの水準まで急上昇、米株市場では運用環境改善期待からゴールドマン・サックスやJPモルガン、シティグループなど大手金融株が軒並高に買われ、東京市場にも海外金融株の流れが波及した。国内も長期金利が上昇しており、メガバンクには収益改善期待が強まつた。

ジャパン（609）が急反落、8日ぶりに昨年来安値を更新した。18年2月期第3四半期累計の連結決算は、売上高22億8200万円（前年同期比12・0%増）、営業利益6億1300万円（同7・13%増）と增收増益だった。ただ、大幅減益（同53・1億500万円）と未達成を警戒した。

10日、国際石油開発帝石（1605）62）など資源開発（1602）、昭和シェル石油（5002）など関連が軒並み高。前年と14年12月・20ドル台に上昇。市況好転に水準

4°C HDは下方修正  
による収益改善を期待  
した買いが広がった

# 原油関連先物3年ぶり高値

よる収益改善を期待した買いが広がった。

ト拡充報道を好感に増やす。ハード販売台数が200万台を超えて、ゲーム会社が参入しやすい環境が整ったためとしており、一段のプレステ販売増とグレープ収益への貢献を期待した買いが先行した

12月度の月次売上状況（速報）で、既存店売上高が前年同月比2・6%減と2ヶ月ぶりに前年実績を割り込んだことが嫌気された。10月に発売した「エアフレーム（MEN）トレンドシェイプ」など のスポット展開商品は好調だつたが、前年に売り上げを牽引した定番商品の不振を補うにいたらなかつた。

## 米国決算が本格化

先週の東京株式市況は反落となりました。大発会からわずか3日で1000円超の上昇となつたことで、この程度の押し目は許容範囲。25日線（2万2995円）には距離があり、ここを割り込まなければ調整とは言えません。1月5日～9日に残した2万3500円程度の窓埋めないし、最大でも25日線までの押しと考へます。

今週は17日のアルコアから米国決算が本格化していきます。世界同時好況やITサービスの普及により、資源・IT大手が牽引役となって二桁の増益率になる見込みと報じられています。それらを確認しながら押し目買い、噴き値売りで対処するところでしょう。

ただし、バブル崩壊後の日経平均には  
108ヶ月サイクルというものがあり、  
 2月が該当月となりますので、  
1月末にはポジションを一旦  
軽くしたいことです。

日々勇太朗

転ばぬ先のテクニカル

(3727)  
アプリツクス

# 淨水器IoT化機能製品 InterAqua2018に出展



## HARPS Aqua のイメージ図

ビッグサイトで開催される「Interaqua 2018第9回国際水ソリューション総合展」に出展し、「HARPS AQUA（ハーブス・アクア）」をはじめとする、浄水器IoT化機能製品（浄水器を短期間でIoT化することに特化した製品）を展示する。

「HARPS Aq u a」は既存の浄水器をインターネットにつなぎ、クラウド上で管理するためのオールインワンパッケージ。2017年中にトヨタ

# 特選銘柄

アブリ  
ックス  
(372  
7) は、  
2月14  
日～16  
日に東京

企業が200社を超えるなど好評を得ている。「HARPS Aqua」は今年春に日本、アメリカ、ヨーロッパで発売予定。

今回の「InterAqua 2018第9回国際水ソリューション総合展」では「HARPS Aqua」と「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」を展示。「ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント」は同社開発の10Tモジュール、流量センサー、給水ホース用ワンタッチジョイントを一体にした製品。浄水器を買い替えたり改造したりすることなく、浄水器の給水ホースに取り付けるだけでフィルター交換の通知をスマホで受け取るなどのIoT化が実現できる。



ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント



## ビーコン内蔵流量センサー付ジョイント



(前期比21・6%増)へ、営業利益で51億円から59億円(同63・6%増)へ、純利益を41億円から46億円(同44・6%増)へ上方修正したことが材料視さ

# スター精一段高で新値

## 18年2月期予想を上方修正

（3668）が急落  
約1年ぶりに昨年来  
安値を更新した。任天堂（7974）か  
ら特許権侵害に関する訴訟を提起された  
と発表したことを受け、収益への影響を  
警戒した売りがかさんだ。任天堂はアブ  
リ「白猫プロジェクト」提供の差し止め  
と損害賠償約44億円、遅延損害金を請求  
しているが、同社は特許権を侵害する  
事実は一切無いとして見解の正当性を主

コロプラ、任天堂から訴訟

張していく方針

れた。工作機械事業では欧州や中国で自動車関連を中心に設備投資需要が好調で特機事業でも米国市場向けを中心に堅調に推移している。

連結業績を下方修正、営業利益を41億5000万円から37億円（前期比9・7%減）へ一転減益を見込んだことで失望売りが膨らんだ。食材と食品製造設備の売り上げが想定を下回り、原材料、労務費、水道・光熱費などの上昇が利益を圧迫する。

# 相場展望



光世証券

エグゼクティブ・マネージャー

西川 雅博 氏

# 過熱感ない上昇相場持続

PER15倍なら2万5000円台乗せ

日経平均は年明けからの3連騰で一気に大幅水準訂正の動きとなつた。高値警戒感はあるが、内外の投資環境は極めて安定しており、投資家の先行き期待感はさらに強まっている。足元では為替相場が年末年始の113円台のもち合いから2円程度円高ドル安の動きがあるが、株価の反応は限定的。為替の影響が薄れていれば、物色の流れがハイテク・自動車などの外需銘柄から、金融株、小売業などの内需銘柄やバイオ・電池関連のテーマ株にも広範囲に渡つてきるから。物色対象が短期間で入れ替わる循環相場によつて、過熱感の伴わない上昇相場が持続しやすい。

池関連のテーマ株にも広範囲に渡つてきるから。物色相場を占う上で、半導体サイクル（4～5年周期）に見られる従来型景気循環論に立つか、AI革命に象徴される構造的变化に着目するのかは、現時点では市場関係者でも見方の分かれ。前者なら米国株の水準も含め相当警戒せざるを得ない。ただ、時間の経過と共に後者の視点が浸透していくかどうかが今年のポイントになる。さらに、株価の一段高はデフレ脱却の自信につながり、資産効果を通じて景気押上げ効果をもたらす側面もある。短期的に第3四半期決算発表前後から、今期（18年3月期）の着地はもとより、来期（19年3月期）10%程度の連続増益期待が台頭するのではないかと見る。日経平均EPSで1670円、PER15倍なら2万5000円台乗せ。次の20年3月期まで視野に入ると2万7000円台もまんざらではない。

セクター別では、原油高から資源関連と出遅れの銀行・証券。個別では千代田化工建設（6366）、日本郵政（6472）など。

（1）、NTN（6472）、ずほファイナンシャルグループ（841み）など。

日経平均は年明けからの3連騰で一気に大幅水準訂正の動きとなつた。高値警戒感はあるが、内外の投資環境は極めて安定しており、投資家の先行き期待感はさらに強まっている。足元では為替相場が年末年始の113円台のもち合いから2円程度円高ドル安の動きがあるが、株価の反応は限定的。為替の影響が薄れていれば、物色の流れがハイテク・自動車などの外需銘柄から、金融株、小売業などの内需銘柄やバイオ・電池関連のテーマ株にも広範囲に渡つてきるから。物色相場を占う上で、半導体サイクル（4～5年周期）に見られる従来型景気循環論に立つか、AI革命に象徴される構造的变化に着目するのかは、現時点では市場関係者でも見方の分かれ。前者なら米国株の水準も含め相当警戒せざるを得ない。ただ、時間の経過と共に後者の視点が浸透していくかどうかが今年のポイントになる。さらに、株価の一段高はデフレ脱却の自信につながり、資産効果を通じて景気押上げ効果をもたらす側面もある。短期的に第3四半期決算発表前後から、今期（18年3月期）の着地はもとより、来期（19年3月期）10%程度の連続増益期待が台頭するのではないかと見る。日経平均EPSで1670円、PER15倍なら2万5000円台乗せ。次の20年3月期まで視野に入ると2万7000円台もまんざらではない。

セクター別では、原油高から資源関連と出遅れの銀行・証券。個別では千代田化工建設（6366）、日本郵政（6472）など。

**第1四半期29%営業増益を好感**

週末12日、ファーリティリング（9983）が急伸。昨年高値を更新した。18年8月期の第1四半期連結決算を、売上収益617億2600万円（前年同期比16.7%増）、営業利益139億100万円（同28.6%増）と大幅な増益だったことが好感された。ヒートテック、ダウ

（12日、コスモス薬品（3349）が急上昇相場が持続しやすい。

相場を占う上で、半導体サイクル（4～5年周期）に見られる従来型景気循環論に立つか、AI革命に象徴される構造的变化に着目するのかは、現時点では市場関係者でも見方の分かれ。前者なら米国株の水準も含め相当警戒せざるを得ない。ただ、時間の経過と共に後者の視点が浸透していくかどうかが今年のポイントになる。さらに、株価の一段高はデフレ脱却の自信につながり、資産効果を通じて景気押上げ効果をもたらす側面もある。短期的に第3四半期決算発表前後から、今期（18年3月期）の着地はもとより、来期（19年3月期）10%程度の連続増益期待が台頭するのではないかと見る。日経平均EPSで1670円、PER15倍なら2万5000円台乗せ。次の20年3月期まで視野に入ると2万7000円台もまんざらではない。

セクター別では、原油高から資源関連と出遅れの銀行・証券。個別では千代田化工建設（6366）、日本郵政（6472）など。

## 大有機最高益で自社株買い

（12日、コスモス薬品（3349）が急上昇相場が持続しやすい。

相場を占う上で、半導体サイクル（4～5年周期）に見られる従来型景気循環論に立つか、AI革命に象徴される構造的变化に着目するのかは、現時点では市場関係者でも見方の分かれ。前者なら米国株の水準も含め相当警戒せざるを得ない。ただ、時間の経過と共に後者の視点が浸透していくかどうかが今年のポイントになる。さらに、株価の一段高はデフレ脱却の自信につながり、資産効果を通じて景気押上げ効果をもたらす側面もある。短期的に第3四半期決算発表前後から、今期（18年3月期）の着地はもとより、来期（19年3月期）10%程度の連続増益期待が台頭するのではないかと見る。日経平均EPSで1670円、PER15倍なら2万5000円台乗せ。次の20年3月期まで視野に入ると2万7000円台もまんざらではない。

セクター別では、原油高から資源関連と出遅れの銀行・証券。個別では千代田化工建設（6366）、日本郵政（6472）など。

## ファーストリテの日足チャート



年始からの動意銘柄

## ファーストリテは高値

（12日、大阪有機化学工業（4187）がストップまで買われ、約1年ぶりに昨年高値を更新した。11月期の連結業績は、経常利益0034億9700万円（前期比3.9%増）と連続最高利益更新を見込み、併せて、行済み株式数の

新落、昨年来安値を更新した。18年5月期の連結業績予想を売上高で5500億円から5524億円（前期比9.9%増）へ、営業利益を223億円から20億円（同10.1%減）へ修正、利益の減額を嫌気した。積極的な人員を増強に強いという。秋冬商品の需要が強いという。

（12日、アルテック（9972）が急反発、昨年来高値を更新した。17年11月期の連結業績を上方修正したことことが好感された。

## 潮流

# 年始からリスク選好に拍車

# 26年ぶり2万3000円と初の2万5000ドル



トランプ大統領は大台に乗せを受けて「我々はとても大きなバリアーを突破した。8年（2期）をかけても突破できないと言った人もいたのに、11カ月でやってのけた。我々の次の節目は3万ドルだ」と言い上機嫌だ。

日経平均も4日の大発会に終値値で26年ぶりに2万3000円の大台に乗せた。その後も上昇が続き、9日には高値（2万3952円）を付けた。昨年、12月29日の大納会の終値（2万2764円）から僅か3日間で1188円も上昇したことになる。昨年のダウ平均は年初から25%上げた。日経平均は19%の上昇だ。

世界の株式市場は年始からリスク選好に拍車がかかっている。昨年からの大きなテーマである「世界同時好況」の流れが一段と強まるという楽観論が台頭している。その背景には企業業績の伸びに対する期待感が大きい。今年の米国主要企業の1株利益が前年比18%増と大幅に伸びると想定。上方修正の最大の理由は、税制改革による収益の押し上げ効果を加味したことだ。

ここまで株式投資に適した環境が整ったのは、物価停滞の下で米連邦準備理事会(FRB)が



利上げを慎重に進めていることが大きい。長期金利の上昇が抑えられ、マネーをリスク投資に誘導している。昨年12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、経済見通しに税制改革

「ブリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近で2017年1月に始まつた夕刊フジ主催の「株・1ランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。利現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>

A professional portrait of Kuniyoshi Okuyama, a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and red tie. He is standing with his arms crossed against a dark blue background.

の効果を織り込んで成長率を引き上げ、失業率をさらに低くしたのに、物価はほとんど変えず、今年の利上げシナリオも年3回に据え置いた。

トランプ米大統領は1月23日にイスで開かれる世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）に出席する。現職大統領の出席は2000年のクリントン氏以来、18年ぶりだ。トランプ大統領は保護主義的な政策を打ち出し、グローバル化に積極的なエリートを批判してきた。エリートや自由貿易の象徴といわれるダボス会議で世界各国の政府要人やグローバル企業の経営者らを前に、米国を強くするための自由貿易の必要性を訴え、法人税の引き下げの成果を強調して、大手ＩＴ企業経営者との融和を図ることが予想される。株高と企業業績の伸びはトランプ大統領に強い味方となる。

潮流銘柄はサンセイランディック（3277）、AMBITION（3300）、みらいワークス（6563）。

トランプ大統領ダボス会議に出席

# チャート から読む 脱落銘柄

オンキヨー (6628)



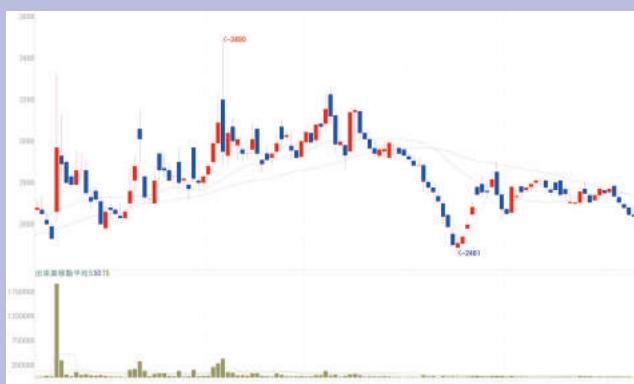
長らくの調整だったが、1月4日の147円を底に出来高を交えて出直る動き。米ラスベガスで9日から開催された「CES 2018」ではAI搭載スピーカーが話題。200円突破に期待。

三社電機製作所 (6882)



大勢上昇トレンドのなか、25日移動平均を下値支持ラインに適度な押し目を入れながら上値を追う。上昇過程で信用買い残の整理が進むなど需給も良好で、好業績をテコに株価噴き上げ局面が近い。

日アビオニクス (6946)



2800円手前で再度下落基調。防衛用表示機器大手で、北朝鮮リスク後退が材料面で圧迫。18年3月期赤字予想で業績面でも不安。昨年11月8日安値2461円を意識。

アダストリア (2685)



3Q大幅減益を嫌気、急落後も戻りは鈍い。大勢下降トレンドのなか、急降下してきた5日移動平均が上値を圧迫。2200円台を割り込めば、1600円近辺まで下値の節目はなく、下値警戒感が強まる。

※チャートは日足

## 今週の

# 活躍期待 銘柄



# グレイステクノ (6541)

## 18年3月期大幅増益を評価

従来の「読むマニユアル」「見るマニユアル」  
「理解するマニユアル」から脱却した A.I.（人工知能）を活用・搭載した  
「誘導型マニユアル」の開発に取り組んでおり、生産性の大幅向上が期待される。（と）

グレイステクノロジー（6541）は昨年12月1日に1万60円の最高値更新後に調整していくが8000円割れ後は底堅く、50日移動平均に接近してきたことで好実態から出直る動きに期待したい。内外メーカー向けに産業機械マニュアルの作成と管理、運用システムや企画、翻訳サービスを提供している。MM事業ではe-manual利用案件の積み上げに加え、学校法人へのコンサルティング案件などの積み上げで大幅に増加し、18年3月期は通期連結営業利益で4億円（前期比33・1%増）と大幅な増益を見込む。

## AI活用誘導型マニュアルに期待



## ゼンリン (9474)

自動運転で存在感高める

国内カーナビ用データ拡大で  
2Q黒字転換を  
果たしたが、下  
期偏重型の事業  
構造で、3Q以  
降の収益拡大へ  
期待が強い。信  
用倍率0・4  
倍、貸借倍率  
0・48倍の好需  
給も株価を押し  
上げる。(さ)

ゼンリン（9474）は年始から上値追いを再始動、高値保ち合いを上放れ一段高を志向してきた。地図情報サービス国内最大手で、KDDI、富士通とデータナミックマップ生成に必須技術となる大容量データの情報収集と自動運転車へのマップ配信技術の実証実験を開始。インターネット向け地図データやカーナビゲーション用データで培ってきた技術、ノウハウと次世代移動通信システム「5G」を活用して完全自動運転車への高精度地図データの提供を目指す方針で、自動運転の領域でさらに存在感を高め持強い

## 3Q以降収益拡大へ期待強い

\*チャートは日足

# 高野恭壽の 株式情報

# これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

値ガサ系は弱い動きにあります。下値抵抗力はそれなりにありました。化学も調整中ですが、反落の後は下げ幅を縮小するなど戻す動きに転じるものが近いことを見せていました。概ね、低位の材料系が三井造船の連騰を見て日本冶金工業、日本高周波鋼、双日、バイオニア、GSE、GSユアサ、岩谷産業などが続伸していました。

とつて調整場面はむしろ買のチャンスを迎えることができますので、今後も突込み場面があれば拾つてみる作戦が有効とみています。

この欄で昨年から紹介しております野村ホーリーデイニングス(8604)が安く寄り付いた後は即、反発に転じジリジリと上値を追い、高値引け状態の731円台で終えました。昨年1月の780円台を意識した動きとみられ、750円台が射程圏になりそうです。

シャープ(6753)が420円台を一時、回復するなど電機グループの中で強い動きを見せています。

富士通(6701)も低迷しています。信用規制の緩和を好感しての上げでした。ここで材料出

場面になりそうです。三井住友

ファイナンシャルグループ(8316)も高値更新の展開になつ

ていきました。アンジェス(4563)が700円台を回復しました。信用規制の緩和を好感しての上げでした。ここで材料出

現ともなれば爆騰するのですが、

気長に待ちましょう。

が、徐々に回復場面に向かう

よう。今回の狙いは大紀アル

ミニウム工業所(5702)と

いたといえるでしょう。

化学ですが、続落したもの

にみられるようになり、そろそ

ろ反転の動きができる場面が近づ

いたといえるでしょう。

引きにかけて下げ幅を縮小して

終えました。

住友化学(4005)が予想通り850円台まで下

りましたが、ここからは拾う

ました。

今年買いたい動きに

そびれたい

ました。

た。思ひがした  
テレビ番組コ  
も少なくなった  
運営するアベマ  
増している。筆  
告収入を得てお  
新聞が存在感が  
失つていったこ  
とが、放送の業  
界でも起きつつ  
あることを感じ  
る。



# New product

# 「スヌーピー ライフ」 事前登録キャンペーンを開催



カプコン（9697）は新作アプリ「スヌーピー ライフ」の事前登録キャンペーンを開催している。「スヌーピー ライフ」はAndroid/iOSで配信中の「スヌーピーストリート」、「スヌーピードロップス」の開発チームが手掛けるスヌーピーアプリの第3弾で、スヌーピーのアイテム探しゲーム。かわいいPEANUTSの世界でスヌーピーと一緒に街づくりを進め、依頼されたアイテムを探してどんどん街を広げる内容。PEANUTSのキャラクター達が街の中で生活していて見ているだけで癒される。詳細はキャンペーンサイト<https://www.capcommobile.com/snoopylife/>を参照。

# 星野三太郎の 株街往来 ～存在感失うＴＶ～

## ～存在感失うTV～

# 星野三太郎の 株街往来

## ～存在感失うＴＶ～

年末年

## 肌の弾力維持に重要な役割

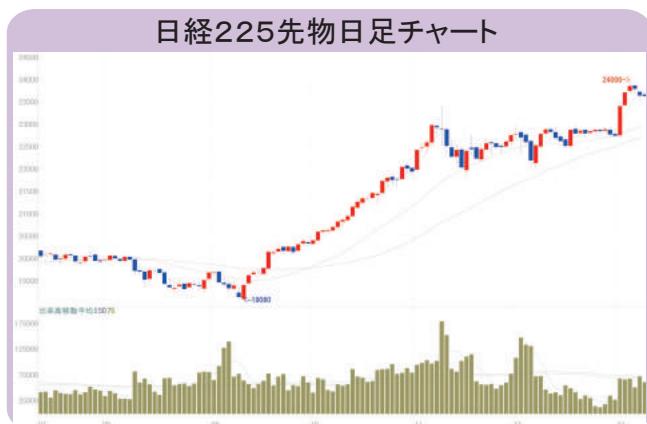
ファンケル

「DDR2」に老化制御の可能性発見

ファンケル（4921）は  
肌の弾力維持に重要なコラーゲンの分解を制御する研究を行っており、2014年から細胞とコラーゲンをつなぎとめる機能を持つコラーゲン受容体タンパク質「DDR2」に着目してきましたが、今回、肌の弾力性や柔軟性に重要な役割を持つエラスチン線維の形成にコラーゲン受容体タンパク質「DDR2」が関与することを発見しました。「DDR2」は、損傷したコラーゲンの再構築に関与することは知られ

ていたが、その機能の詳細は解明されていなかつた。今回 の発見により、「DDR2」が肌の老化制御に働く可能性が期待される。

老化によつて「DDR2」が減少すると、エラスチン線維の形成に関連するEMLI N2とエラスチンの生成量も減少し、その結果、エラスチン線維の形成が制御されて真皮の弾力低下につながる可能性があることを発見している。「DDR2」の減少が、紫外線や加齢に伴う肌の弾力性の低下に関与するといつても確認した。



加している。11日時点の水準である。裁定取引自体は相場に対しフラットであるが相場が変動したときに解消売りができる。変動幅を大きくするケースが多い。買い残が時価総額の0・6%を越えてくると警戒水準と言われるが現在は約0・48%程度である。直ぐに警戒しなければいけない状態ではないが買い残が積み上がり、(ハ)トロク) う。

## 今週のスケジュール

- ・ 12日 米12月消費者物価指数  
米12月小売売上高
  - ・ 15日 12月マネーストック(8:50)
  - ・ 16日 12月企業物価指数(8:50)  
11月第3次産業活動指数(13:30)  
米1月NY連銀製造業景況指数
  - ・ 17日 11月機械受注(8:50)  
米地区連銀経済報告(ベージュ  
ブック)
  - ・ 18日 トルコ中銀金融政策会合  
南ア中銀金融政策会合  
米12月住宅着工件数  
米1月フィラデルフィア連銀製  
造業景況指数
  - ・ 19日 米1月ミシガン大学消費者信頼  
感指数(速報値)

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。

背景には最大のリスク要因であった北朝鮮がピヨンヤンオリンピックに参加する方針との報道により、オリンピック期間中には挑発

敏腕先物ディーラー

# ハチロクの裏話

大発会から日経平均は3日連続で値上がりし、上昇幅は1085円となつた。年初から3日間上昇するのは2年未である。

的な行動はとらないだろうとの疑惑から一気に買戻しが入ったようである。年末にヘッジを掛けていた投資家、地政学リスクが後退するなら他の国の株より割安な日本株を買いたい欧洲投資家が年初より買いを入れたようである。9日にはザラバ中に2万4000円にタッチしたが、急激な上昇により達成感もでてその後調整局面になつている。

が一番上の窓は解消し、  
万3510円から2万34  
90円の二つ目の窓埋めを  
試す可能性は高い。この水  
準は4日からの9日の高値  
までの38・2%押し（2万  
3511円）水準である。  
その下の水準としては一目  
均衡表の転換線（2万33  
60円）がサポートライン  
となる。

上値はボリンジャーバン  
ドの△20（2万3850

新しい紙面作成ソフトを導入した。ところが、旧ソフトからのデータ変換や若干操作方法が違うことから作業が長時間にわたり、肩が凝つて歯茎が腫れるわ、業務に支障をきたして同僚にも迷惑をかける始末。ただ、データトラブルがなく、よりきれいな紙面が組み上がるのと、何としても使いこなしたいと思つてゐる。年始から3連騰と大相場を予感させた東京市場だが、日銀テレパリング観測による円高で暗雲が漂い始めた。ただ、海外市場や原油、非鉄市況も堅調で、ここで弱気する必要はないだろう。

甲安なる一氣に高直も

がつていい事は注意したい。

編集後記